

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ



ロータリー:
変化をもたらす

2017~2018 年度

国際ロータリーのテーマ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 小池平一郎 ◆副 会 長 / 湯本 敏晴
- ◆幹 事 / 小林 秋生 ◆クラブ広報・情報委員長 / 依田 晋一

NO. 1387 平成29年10月31日



◆点鐘	小池平一郎 会長
◆SAA	黒田 説成 委員
◆ソング	それこそロータリー

【会長挨拶】 小池平一郎 会長

ノーベル賞の発表は医学・生理学賞からスタートします。今年10月2日発表があり、2017年の医学・生理学賞はサーカディアン・リズム(体内時計)を生み出す遺伝子とそのメカニズムを発見した米・ブランダイス大学のホール(Jeffrey C. Hall)博士とロスバッシュ(Michael R. Osbash)博士、ロックフェラー大学のヤング(Michael W. Young)博士の3氏に授与されることになりました。

朝になると目が覚め、夜になると眠くなる。この様に眠気や体温、血圧など私たちの体の状態は24時間周期のリズムで変動しています。この様な体のリズムを「概日リズム」といいます。私たちの体はどうやって時間を知り、概日リズムを生み出しているのでしょうか。概日リズムを

のことをサーカディアンリズムと言ひ、一般には「体内時計」と言ったりもします。

概日リズムの研究は植物から始まりました。1930年ドイツの生理学者ビュニングはマメ科の植物オジギソウの動きを丹念に計測し、昼の間は葉を広げ、夜になると葉を閉じるのであるが、常に真っ暗な場所に置いても、日が当たる場所にある時と同じリズムで葉を開閉したのを観察し、光に反応して葉を開閉していたのではなく体内に24時間周期のリズムを作り出すしくみ(体内時計)を持っているのではないかと発表し、それ以後様々な動植物に体内時計があることが、明らかになりました。その実体やしくみは長い間、謎に包まれていました。

1971年分子生物学者シーマ・ベンザー博士とロナルド・コノブカ博士が突然変異を誘発する薬剤を用いて、概日リズムの乱れたショウジョウバエを複数作り出し、これらのショウジョウバエを調べるといずれも同一のDNA領域(遺伝子)に異常を発見したのでした。つまり、体内時計には遺伝子が関わっていたことが解り、この遺伝子は「Period」(周期の意)と名付けられました。

そして1984年今回授賞が決まったホール博士とロスバッシュ博士のグループとヤング博士のグループによってPeriod 遺伝子が固定され、その遺伝子の塩基配列が決定されたのです。そしてヤング博士らは1995年概日リズムを生み出すもう一つの遺伝子Timeless を発見しました。Per(period)遺伝子が作るTIMタンパク質は、細胞内で複合体を作ります。この複合体は遺伝子の働きを制御する転写因子で、Per 遺伝子とtim 遺伝子にフィードバッ

クをかけます。つまり、一定の時間で蛋白の合成が行われ、一定の時間は経つとその蛋白により制御が行われる一方CYCLEとCLOCKという別の蛋白質の複合体がPER遺伝子とTIM遺伝子に働きかけ、各々の蛋白質を作り出し、一定時間でこれも複合体となり、核に移動します。この一連のサイクルによって概日リズムが造られているという訳です。そして、この他にもいくつかの遺伝子や蛋白質がさらに調節に関与することが解明されつつあります。

ショウジョウバエと同様な仕組みが哺乳類でも存在しており、近年では体内時計が様々なヒトの病気に関係していることが、判りつつあり、睡眠障害やうつ病なども体内時計と関係があると言われています。体内時計と実際の生活サイクルが乖離すると、高血圧やがん、糖尿病などのリスクが高まると言われています。生活のリズムを体内時計と一致する様にしましょう。

【幹事報告】 小林 秋生 幹事

1. 国際ロータリー日本事務局よりロータリーレート変更について
11月より1ドル=114円(現行112円)に変更
2. 第10回全国RYLA研究会並びにセミナー開催について
日時 2018年5月24・25・26・27日
場所 神戸YMCA余島野外活動センター
3. 例会変更
東御RC 12月13日(水) 定刻受付なし
 12月20日(水) 定刻受付あり
 12月27日(水) 定刻受付なし
4. 週報
上田西RC
・来週11月7日(火)は飯綱山公園草刈りです。作業の出来る服装で鎌、草刈り機をご持参ください。

【本日の配布物】

週報1387号、理事会報告

◆委員会報告

クラブ運営委員会 黒澤 明男 委員長
例会終了後、クラブ運営委員会を行います。

◆ラッキー賞

NO. 16 橋詰 希望 君

◆出席報告 山口洋一 委員

会員数22名	出席義務者22名	免除者0名
本日	出席 17名	
	事前MU 0名	77. 27%
前々回(10/17)	MU 1名	66. 67%

◆ニコBOX 山口 洋一 委員

小池平一郎君	11月12日・13日ガバナー補佐の研修会に行き参ります。
前田 博志君	おいしいお酒飲みたいね。
小林 秋生君	

橋詰 希望君	ラッキー賞ありがとうございます。最近お酒は控えています。
黒澤 明男君	

【本日のプログラム】「地区大会報告」小林 秋生 幹事



去る10月14日～15日長野市のホテル国際21に於いて、第2600地区地区大会が開催されました。第1日は、会長・幹事会、続いて本会議、研修会、とプログラムが進み、夕方6時からは飯村 慎一 RI 会長代理をお迎えしての歓迎晩餐会が開かれました。研修会においては、講師に、元 RI 理事の松宮 剛さんを招いて「今、ロータリーに思うこと」と題してご講演を聞きました。この講話の中で印象に残ったお話がありましたので報告します。ロータリーの友 8月号の表紙に森のオーケストラのイラスト画が載っていますが、皆さんは、この絵を見て何を感じ取りますかと質問がありました。パン屋さん、コックさん、また学校の先生など、それぞれ

みんな異なる職業の人から指揮者を始め、合計15名、管楽器からハーブ、弦楽器、シロホンなど様々な楽器を持って、楽しそうに演奏をしております。皆さん、色々な感想を述べていましたが、松宮さんの言うには、森の中できれいな音を響かせて、まさに今、楽しんでいる演奏は、ロータリアンの活動そのものに良く似ているとの事でした。様々な職業の人が寄合って、楽しみながら奉仕活動をしている、なるほど感心した次第であります。皆さんも帰ってから8月号を、もう一度見て下さい。(講師の松宮さんは、小池会長の大学時代の同年友とのことです)

第1日目は、湯本副会長と私が、ホテルに泊まりがけで参加をし、楽しい晩餐会を味わいました。

さて、第2日目はいよいよ大勢のロータリアンが集っての本大会であります。ご来賓に阿部長野県知事、加藤長野市長を迎え、特別出席者は、飯村 RI 会長代理を始め、各関係地区のガバナー、パストガバナー、ご夫人方など大勢のご参加がありました。当日は、雨の悪天候でありましたが、600～700名の大会となりました。当クラブは会長幹事を入れて、合計8名とちょっと淋しい人員でありましたが、電車乗合せで元気に参加をして参りました。記念講演は、東大名誉教授の月尾 嘉男先生による「環境危機と適応ビジネス」と題してのお話でありました。今、地球は特に日本は環境が大変であると様々な数字を示して説明をされていました。何が大変かと言うと、日々変化して、もっと大変に近づいているのに、何の手を打つことも出来ないでいることが、一番大変であると言っていました。先生の様な偉い学者に答えが出来ないのに我々に解かろう答えはないと感じただけでありました。お昼のアトラクションは諏訪神太鼓の勇ましい演奏があり、悪天候も、頭のモヤモヤも吹飛ばしてくれたのは、大変素晴らしいことでありました。もうひとつの感想は、誇らしくも、当クラブでお世話をした米山記念奨学生のホームカミング、李奇菊(リ・キキク)さんの口演を聞くことが出来たことあります。皆さんも、この間の夜間例会で、御存知でありましようが、年令も、もう50才をこえて中国、西南大学の副教授様になっておられます。拾数年前、私が入会した頃の米山学生で、その後年、重慶の西南大学に旅行した事が思い出されて、仲々懐かしい事でもありました。

次週のプログラム：11月7日 「飯綱山公園草刈り」 奉仕プロジェクト委員会

次々週のプログラム：11月14日 「卓話」 小池歯科医院長 小池 吉彦氏